シラバス参照

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**（共通）**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	RMGT/SSCS1112		
科目名	文章表現２		
担当教員	小泉　夏子		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月２		
講義室	1007	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-D 〔市民的素養と市民的教養〕市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観、動機を動員することができる。 DP2-A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕地球的視点で物事を多面的に捉え、日本の精神文化を理解し異文化との交流の重要性を認識することができる。 DP4-1〔理解力・分析力〕文章を読解し、情報の収集と取捨選択、分析を円滑に粉うことができる。 DP6-k〔表現力・対話力、ライティングコミュニケーション、オーラルコミュニケーション〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＲ）との関連 A1 文化的自己意識、文化的多様性への理解（10%） A2 異文化適応、言語的コミュニケーション （10%） D1 文化的素養、知識の獲得、市民参加のためのコミュニケーション、市民的行動と省察と参加（40%） I1 内容理解、文理構造の分析、解釈、読者の声（15%） I2 表現、コミュニケーション （5%） K1 ライティング・コミュニケーション、目的及び文脈の理解、構成、内容の展開（10%） K2 オーラル・コミュニケーション、内容の構造化、言葉選び、話しの運び（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	１萌芽期～２進行期		
科目概要・キーワード	基礎的な文章の書き方やレポート作成方法を発展させ、さらに文章作成のスキルアップを図ります。学士課程の基礎レベルを目指したレポートを完成できる能力の習得を最終到達目標とします。また、e-learning教材を用いて弱点をみつけ、基礎文章力を強化します。 授業形態は、講義＋演習形式により行います。 なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するため、オンライン授業を一部取り入れます。 キーワード：文化的素養と知識の獲得・分析と読解・表現力と対話力、ライティング・コミュニケーション、オーラル・コミュニケーション		
授業の趣旨	■副題 競技スポーツに関わる上で必要な分析力、表現力を身につけましょう。 ■授業の目的		

	アスリートやコーチを目指すうえで競技スポーツに必要な分析力、探求力、表現力、対話力を修得し、他者理解能力など競技スポーツのゼネラリストとしての能力を身につけます。 ■授業のポイント 大学生活に必要なレポートや論文の作成能力を養成します。文章作成の上で必要な効果的な読点の打ち方や段落の取り方、表紙のつけ方など基礎的な学習から始めます。文章表現能力やプレゼンテーション能力を身につけましょう。
総合到達目標	■市民的素養と市民的教養を身につけるために、日本語の文法と文章の構造を正しく理解する。 ・正しい文法と表記方法で文章を書くことができる。(1～4回) ・論理的な文章の構造を理解し、筋の通った文章を書くことができる。(1～4回) ■日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢を身につけるために、日本語・日本文化の理解を深め、さらに他者や異文化との交流を重視する態度を習得する。 ・日本語の語彙を増やし、適切な表現によってわかりやすい文章を書くことができる。（2～14回） ・他の学生と相互批評し、意見を交換することができる。（12、13回） ■理解力・分析力・表現力・コミュニケーション能力を高めるために、文章を正確に読解・分析し、自らの考えを的確に表現する技能を身につける。 ・文献を、データベースを用いて探索し、類別することができる。（4～6回） ・自分の文章と他者の文章を書き分け、剽窃とみなされないように、引用であることを明確に示し、注や参考文献を付すことができる。（7～14回） ・課題に対して自ら考え、具体的な理由を示してその考えを説明することができる。（2～14回） ・レポートや初歩的な学術論文など大学生活を送るうえで必要かつ実践的な文章を書くことができる。（2～14回）
成績評価方法	■文章作成およびリアクションペーパー（40%）:適用ルーブリック A1,D1,I1,I2,K2 （評価の観点）課題を正確に理解し、自らの考えを的確に表現できているかを問います。論の構成や表現が適切かどうかを評価します。 (フィードバックの方法）学生間の意見交換や教員による指導によって改善点などを示します。 ■課題レポート、学術論文（60%）:適用ルーブリックK1,I1 （評価の観点）先行する学術論文の分析、文脈の理解などが正確になされているか、また、それをふまえて論が立てられているかを問います。レポートの論理構成や表現が適切かどうかを評価します。 (フィードバックの方法）教員による改善点の提案や、推敲方法の指導を行います。
履修条件	文章表現１を履修することが望ましい
履修上の注意点	文章表現は、言葉を使って表現していきますので、書物、雑誌、新聞など日常生活の中で「読む」習慣を身につけましょう。
授業内容	

回	内容
1	①授業テーマ 　ガイダンス（全体テーマ、授業の進め方、成績評価の仕方などの説明） ②授業概要 　ガイダンス授業。授業の内容やスケジュール、成績評価の方法について理解できるようになる。（A1、A2） ③予習（120分） 　自己紹介文を書いてみる。 ④復習（120分） 　論理的な文章の形式を再度確認する。次回課題「イヌとネコ」について情報を整理する。
2	①授業テーマ 　文章の書き方の基礎的な事項を確認し、論理的な文章の練習課題を作成する（１） ②授業概要 　授業冒頭に、e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、論理的な文章作成の練習課題として、レポート「イヌとネコ」を書き、文章の基本的な書き方を習得できるようになる。（I2、K1、K2） ③予習（120分） 　論理的な文章の形式を復習する。「イヌとネコ」について考えを整理する。 ④復習（120分） 　練習課題を読み直し、文章の書き方の基礎的な事項を確認する。

3	①授業テーマ 　文章の書き方の基礎的な事項を確認し、論理的な文章の練習課題を作成する（２） ②授業概要 　授業冒頭に、前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、論理的な文章作成の練習課題として、前回作成したレポート「イヌとネコ」を推敲し、文章の基本的な書き方を習得できるようになる。（A2、I2、K1、K2） ③予習（120分） 　自分の「気になる人物」についての情報を整理する。 ④復習（120分） 　練習課題を読み直し、文章の書き方の基礎的な事項を確認する。
4	①授業テーマ 　文章の書き方の基礎的な事項を確認し、論理的な文章の練習課題を作成する（３） ②授業概要 　授業冒頭に、e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、論理的な文章作成の練習課題として、レポート「スポーツの魅力」を書き、ロジカルシンキングの手法を用いて文章を作成する技術を身につけることができるようになる。（I2、K1、K2） ③予習（120分） 　論理的な文章の形式を復習する。「スポーツ」について自分の関心のあるテーマを考えておく。 ④復習（120分） 　練習課題を読み直し、文章の書き方の基礎的な事項を確認する。
5	①授業テーマ 　文章の書き方の基礎的な事項を確認し、論理的な文章の練習課題を作成する（４） ②授業概要 　授業冒頭に、前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、論理的な文章の練習課題として前回作成したレポート「スポーツの魅力」を推敲し、ロジカルシンキングの手法を用いて文章を作成する技術を身につけることができるようになる。（A2、I2、K1、K2） ③予習（120分） 　前回自分が書いたレポートを読み直す。 ④復習（120分） 　練習課題を読み直し、文章の書き方の基礎的な事項を確認する。
6	①授業テーマ 　文章の書き方の基礎的な事項を確認し、論理的な文章の練習課題を作成する（５） ②授業概要 　授業冒頭に、e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、他の履修者が作成したレポート「スポーツの魅力」を読み、全体の構成や表現方法などのポイントを確認し、自分のレポートの改善点、問題点を説明できるようになる。（A1、I1、K1、K2） ③予習（120分） 　他の履修者が作成したレポートを読み、人に読んでもらうための工夫がどのようになされているのか、構成に注目してノートにその流れを書く。 ④復習（120分） 　次回の課題に向けて自分の記事の改善点、問題点を書き出す。
7	①授業テーマ 　図書館やインターネットで関心のある学術的論文を探して読む。 ②授業概要 　授業冒頭に、前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、テーマに沿ってインターネットで学術論文を探し、レポートを書く際の文献探索方法を身につけることができるようになる。（D1、I1、K1、K2） ③予習（120分） 　どのような文献を探したいか考えてノートに書いておく。 ④復習（120分） 　入手した学術論文を熟読し、書き方を学ぶ。
8	①授業テーマ 　データベースで関心のある学術的論文を探して読む。 ②授業概要 　授業冒頭に、e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、テーマに沿って本学図書館やサイトで学術論文を探し、レポートを書く際の文献探索方法を身につけることができるようになる。（D1、I1、K1、K2） ③予習（120分）

	どのような文献を探したいか考えてノートに書いておく。 ④復習（120分） ダウンロードした学術論文を熟読し、書き方を学ぶ。
9	①授業テーマ 収集した文献の要旨を書く。 ②授業概要 授業冒頭に、前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、図書館やデータベースで収集した学術的論文の内容をまとめ、文献を整理する技術を身につけることができるようになる。（A1、I1、K1、K2） ③予習（120分） 図書館やデータベースで収集した学術的論文を類別する。 ④復習（120分） 要旨を仕上げる。
10	①授業テーマ 文献を引用した論理的な文章を作成する（１） ②授業概要 授業冒頭に、e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、文献を引用した論理的な文章作成の練習課題として、レポート「スポーツの魅力」の下書きを書き、資料を駆使しながら論を組み立てていく技術を身につけることができるようになる。（A2、D1、I1、K1、K2） ③予習 参考にしたい学術論文構成に注目してノートにその流れを書く。 ④復習（120分） 資料を探し、書き進める。
11	①授業テーマ 文献を引用した論理的な文章を作成する（２） ②授業概要 授業冒頭に、前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、文献を引用した論理的な文章作成の練習課題として、レポート「スポーツの魅力」を書き、文献を引用する方法を習得できるようになる。（A2、D1、I1、K1、K2） ③予習（120分） 引用する文献を決めておく。 ④復習（120分） 論文を仕上げる。
12	①授業テーマ 論文の内容をまとめたプレゼンテーション資料を作成する。 ②授業概要 授業冒頭に、e-learning教材を用いて、文章作成の基礎的なスキルの確認、養成を行う。その後、発表にむけてパワーポイントで資料を作成し、わかりやすいプレゼンテーション資料を作る技術を身につけることができるようになる。（A2、D1、K1、K2） ③予習（120分） 自分が書いた論文を読み直し、論旨を明確にする。 ④復習（120分） 授業で作成したプレゼンテーション資料を見直す。
13	①授業テーマ 論文の内容を発表する。 ②授業概要 授業冒頭に、前回e-learning教材で学習した内容の復習を行う。その後、パワーポイントでプレゼンテーションし、自分の主張をわかりやすく説明する技術を身につけることができるようになる。（A2、D1、I1、K1、K2） ③予習（120分） プレゼンテーションの練習と発表用原稿を作成する。プレゼンテーション文章、図版、映像などをチェックする。 ④復習（120分） コメント用紙の批評文を推敲し、清書する。
14	①授業テーマ 文献を引用した論理的な文章を作成する（３） ②授業概要 発表の反省や教員からの指導をふまえて、レポートを推敲し、文章の構成、表現方法、語句など細部まで整った文章を書く技術を身につけることができるようになる。（A2、D1、I1、I2、K1、K2） ③予習（120分）

		論文を読み直す。 ④復習（120分） プレゼンテーションの方法やレポートの書き方を復習する。
	15	①授業テーマ これまで行ってきたことを振り返り、主観的文章、客観的文章、人に説明する際に必要なわかりやすい文章の書き方などの要点を修得する。 ②授業概要 これまでの書いてきたものを振り返り、文献の探索方法、引用の仕方、学術論文作成の基本的事項を説明できるようになる。（A1、A2、D1、I1、I2、K1、K2） ③予習（120分） これまで書いてきたものを再点検する。 ④復習 主観的文章と客観的文章の違いをノートにまとめる。レポート作成の原則、文献の引用方法を復習し、確認する。
関連科目	文章表現１RMGT／SSCS1111	
教科書	特になし。資料は配布します。	
参考書・参考ＵＲＬ	参考書は授業時に適宜紹介します。	
連絡先・オフィスアワー	水曜日・木曜日昼休み。	
研究比率		

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.